

大分トリニータとの農業コラボ事業

宇佐市と大分トリニータとの連携協力協定への協賛として、チームへの応援、地域振興、社会貢献などに寄与する事業の続編です。

① 9月19日、トリニータ代表さんと、津房小の4～6年生による小野グレープランドさんの圃場でのぶどう収穫体験会。

② 9月28日、トリニータホームスタジアム前に向いてのぶどうの粒パックと、地域おこし協力隊員が加工したぶどうアメの販売会。
2家族の計4人の津房小児童の参加を得たこと、トリニータ松本 怜C・R・Oのファン集客力の相乗効果で完売となりました。

③ 10月20日、津房小児童の有志19名参加のホームゲーム観戦会。
球団側のご好意で、普通は立ち入れないグラウンドレベルに降りて選手のウォーミングアップ間近で見られることもでき、児童諸君にはプロサッカーの醍醐味を体感する貴重な会になったと思われます。

④ 11月29日、Jリーグがシーズンオフとなったことから、事業の締め括りとして、これまでのトリニータ代表さん方に現役選手二人とトレーナーが加わったのサッカー教室。
津房小全児童と深見、佐田両小学校の高学年有志から成るグループを対象に、余興や遊び心を交えたトレーニング、サイン会、記念写真撮影会などで楽しいひとときを過ごしました。

※当協議会はこれら一連のイベントで要員派遣や資機材提供で側面支援を行い、当事業を無事終えることが出来ました。
各場面でご協力頂いたみなさんへご報告致しますとともに、本稿にてお礼申し上げます。



津房小学校でのサッカー教室



↑ぶどう販売の応援
ホームスタジアム



小野グレープランドさんでサインの収穫体験



津房小学校の秋の恒例行事に対し、例年通りの支援を行いました。

津房小学校の教育活動支援

津房小学校の秋の恒例行事に対し、例年通りの支援を行いました。

① 10月26日 親子探訪ツアーと野球交流支援。
午前は児童と保護者が一緒に史跡スポット巡るツアーで、今回は尾立集落の5スポットを徒歩で巡りました。
午後は津房小の高学年チームと中津市・洞門小学校区の少年野球チームとの交流試合が行われましたが、試合前に参加者全員(約90人)の昼食として当協議会女性部の調理によるカレーを提供しました。(御代わり頒発の好評)
試合の結果は予想を覆す(失礼!)津房小の勝ち。

② 10月30日 食育の一環でサツマイモ収穫。恒例の全校児童によるサツマイモ収穫体験を行いました。
今夏、日照りと猛暑続きであったにも関わらず、ソコソコの収穫があり、何とか支援者の面目が保てました。

③ 11月1日 地球未来科・モチ米作りのうち稲刈り作業体験。
学校正門前の水田に植えたモチ米が順調に育ち、高学年児童による「手刈り」と「掛け干し」の作業体験をさせていただきました。
収穫した米の一部は学校行事での「ふるまい用」として活用します。

④ 11月9日 ふれあい文化祭で「むかしの遊び」コーナーを開店。
竹トンボ作りと竹でっぽう作りの二班に分け、自分用の手作り(実際には最終工程のみ)作業を手助けし、それを使って遊び方を体験してもらいました。

津房小学校の秋の恒例行事に対し、例年通りの支援を行いました。



竹トンボ、竹でっぽうづくり



稲の手刈り、掛け干し



サツマイモ、ことしもソコソコ収穫できました



↑ ツアーで田口さんの菊花を見学
↑ 交流試合
↓ みんなでカレーライスの昼食